

第16次 いわき市水道事業経営審議会（第5回）水道施設視察報告書

1 日時

平成30年9月27日(木) 午後1時30分から午後5時00分まで

2 視察場所

大滝トンネル、上野原浄水場、平浄水場、水質管理センター、平ポンプ場
平配水池（第1・第2）

3 視察日程

時刻	[時間(分)]	視察場所等	担当課等
13:30		水道局 集合・出発	経営企画課
13:50～14:20	[30]	大滝トンネル視察	浄水課
14:20～14:40	[20]	バス移動中、上野原浄水場を車内から視察	浄水課
14:40～14:55	[15]	平浄水場到着 ・休憩[10分]、事務連絡[5分]	経営企画課
14:55～15:45	[50]	平浄水場視察	北部浄水場管理室
15:50～16:10	[20]	水質管理センター視察	水質管理センター
16:15～16:30	[15]	バス移動中、平ポンプ場を車内から視察	経営企画課
16:30～16:45	[15]	平配水池（第1・第2）視察	配水課
17:00		水道局 到着・解散	経営企画課

4 参加者等

(1) 審議委員（出席11名）

〔上遠野和村、吉田恭子、阿部健一、伊藤幸恵、佐久間幸子、井上広信、岩崎槇子
鈴木俊彦、福迫昌之、古川広子、俣田真志〕

〔欠席：石山伯夫、小野卓也、高橋孝光、長谷山信一〕（敬称略）

(2) 随行者（7名）

〔志賀次長、佐藤経営企画課長、本村浄水課長、須藤経営企画課長補佐、盛企画係長
稲村主査、新井技査〕

(3) 現地対応

各施設所管課等職員

(4) 移動手段

マイクロバス

5 その他

視察中、事務局から審議委員に対し次のとおり事務連絡を行った。

- ・ 第4回審議会の議事録の審議は、第6回審議会で行うこと。
- ・ 次回開催の予定日を平成30年11月15日（木）とすること。

◇ 大滝トンネル（大滝江筋用水路） ◇

○ 大滝トンネルについて説明（浄水課 本村課長）



大滝トンネル（行き）

- ・ トンネルを通り、大滝江筋取水口へ向かう。



大滝江筋取水口

<主な説明>

- ・ 大滝トンネル工事は、大滝江筋の取水口及び用水路の老朽化に伴い、取水や導水の安定化のため行った工事であり、総工費は約9億円
- ・ 好間川に設置した取水口（大滝江筋取水口）から取水した水は、水道水のほか、農業用水にも利用されている。
- ・ トンネルが完成する前は、山を迂回する形で用水路を設置していた。



大滝トンネル（帰り）

- ・ トンネルを通り、出口へ向かう。



トンネル入口付近（用水路）

<主な説明>

- ・ ここから沈砂池を経て導水管により上野原浄水場へ水が流れている。

◇ 平浄水場 ◇

○ 浄水過程、浄水場内の説明（北部浄水場管理室 吉田室長）



浄水場会議室

<主な説明>

- ・ 施設概要や浄水過程について、DVDを用いながら説明
- ・ 平浄水場の敷地には、浄水施設のほか、水質を検査する水質管理センターが整備されている。
- ・ 取水口から浄水場内へ取り込んだ原水は、沈砂池、凝集剤注入、沈澱池、ろ過地、次亜塩素酸ナトリウム注入などを経て、きれいな水となり、ポンプで配水池に送り出し、家庭や学校などに送られる。



管理室での業務説明

<主な説明>

- ・ 委託している民間事業者が24時間体制で運転管理している。
- ・ 水位異常などを集中管理
- ・ 監視カメラ等による防犯対策
- ・ 原水で金魚を飼育し、毒物等の混入を確認



沈殿池

<主な説明>

- ・ 凝集剤でゴミや砂をかたまりにして、沈めて取り除く。



ろ過池

<主な説明>

- ・ 沈殿池から流れてきた水をろ過して、よりきれいにする。
- ・ 沈殿池やろ過池などの浄水システムは2系統あり、片方が事故等により停止しても、残った片方がカバーすることで浄水処理が可能となっている。

◇ 水質管理センター ◇

○ 水質管理センターについて説明（水質管理センター 平山所長）



放射能測定室

<主な説明>

- ・ ゲルマニウム半導体検出器を用いて放射性物質を測定
- ・ 測定機器等の汚染を防ぐため、扉を三重にするなど厳重管理
- ・ 測定器の重さが2 tもあるため、床を補強している。
- ・ この測定室は、原発事故後に新設（既設の部屋を改装）
- ・ 検査1回の所要時間は30分程度（準備作業を含めると約1時間）



理化学試験室

<主な説明>

- ・ いわき市内にある全浄水場の水を検査
- ・ 原水、浄水場の水、配水末端の水（蛇口から出る水）を全て検査



ICP室

<主な説明>

- ・ 水道水中の無機物（金属類やイオン性の物質等）を検査
- ・ 誘導結合プラズマ質量計により検査



固相抽出室

<主な説明>

- ・ 水道水中の農薬等の検査の前処理を行う場所
- ・ 固相抽出装置により検体を抽出
- ・ 抽出後、GC室でガスクロマトグラフにより本検査



生物試験室

<主な説明>

- ・ 水道水中の細菌を検査
- ・ サンプルに栄養を与えて24時間培養し、人体に有害な細菌が発生しないことを確認

◇ 平ポンプ場・平配水池（第１・第２） ◇

○ 平ポンプ場・平配水池（第１・第２）の説明（配水課 則政課長）



平ポンプ

平ポンプ場を車内から視察



平配水池（第１・第２）

<主な説明>

- ・ 基幹浄水場連絡管整備事業について。
- ・ 当該施設等の完成に伴い、平浄水場からの給水可能区域が拡大することで、中央台地区などへのバックアップが可能になること。



- ・ 平第２配水池の上辺部に登る様子



- ・ 平第２配水池の上辺部を視察する様子



- ・ 平第２配水池の上辺部から市街地を望む。

○ 水道施設視察の全行程を終了

- ・ 普段見る機会のない施設を視察することができ、非常に有意義だったとの感想をいただいた。
- ・ 大滝トンネルや配水池など水道施設の規模の大きさに驚いたとの感想をいただいた。